

平成23年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年 8 月 4 日

上場会社名 株式会社アイビー化粧品 上場取引所 J Q
 コード番号 4918 U R L http://www.ivy.co.jp
 代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 白銀 浩二
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員 管理グループ担当 （氏名） 中山 聖仁 （T E L） 03(3568)5151
 四半期報告書提出予定日 平成22年 8 月 5 日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

1. 平成23年 3 月期第 1 四半期の連結業績（平成22年 4 月 1 日～平成22年 6 月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
23年 3 月期第 1 四半期	662	12.9	△397	—	△404	—	△247	—
22年 3 月期第 1 四半期	587	△2.5	△354	—	△365	—	△225	—

	1 株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年 3 月期第 1 四半期	△11	39	—	—
22年 3 月期第 1 四半期	△10	40	—	—

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1 株当たり純資産	
	百万円		百万円		％		円	銭
23年 3 月期第 1 四半期	5,053		2,324		46.0		107	02
22年 3 月期	5,403		2,680		49.6		123	41

（参考）自己資本 23年 3 月期第 1 四半期 2,324百万円 22年 3 月期 2,680百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年 3 月期	—	0 00	—	5 00	5 00
23年 3 月期	—				
23年 3 月期（予想）		0 00	—	5 00	5 00

（注）当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年 3 月期の連結業績予想（平成22年 4 月 1 日～平成23年 3 月31日）

（％表示は、通期は対前期、第 2 四半期（累計）は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円	銭
第 2 四半期（累計）	2,780	6.0	370	4.4	360	4.9	160	△16.1	7	37
通期	5,000	7.2	270	120.3	250	144.7	120	391.5	5	53

（注）当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、〔添付資料〕P. 3「2. その他の情報」をご覧ください。）

（1）当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規 — 社、除外 — 社

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期1Q	25,520,000株	22年3月期	25,520,000株
23年3月期1Q	3,803,197株	22年3月期	3,802,800株
23年3月期1Q	21,716,902株	22年3月期1Q	21,718,500株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、〔添付資料〕3ページ『1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報』をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、海外経済の改善や緊急経済対策を始めとする政策効果を背景に、企業収益の改善が続きました。一方、個人消費につきましては、緩やかなデフレ状況で、雇用情勢に厳しさは残るものの、次第に持ち直しの動きが見られるようになりました。

このような状況のもとで、当社グループは企業理念「愛と美と豊かさの実践と追求」に基づき、コア事業である訪問販売領域の販売組織満足を獲得するとともに、全てのステークホルダーの満足度向上を目指し、「驚きと楽しさと感動に溢れる美しい生き方」をともに創造し、幸せと豊かさを提供する「ワンダ・フル・カンパニー」として成長すべく、企業活動に邁進してまいりました。

具体的には、動員・増員・増客という基本の仕事を着実にを行うとともに、「アイビーファン10万人づくり」をスローガンに、新たなお客様との出会いの場を作る「メイクアップアーティスト地区大会」の推進、「SA研修」をはじめとする当社の理念研修や美容研修の開催を積極的行いました。その結果、販売員の各種会議やイベントへの参加率が向上するなど、販売組織全体が活性化してまいりました。

また、平成22年5月には、新ヘアケアシリーズ「ラビエステGL」を有償先行発売し、好評を博しました。

前連結会計年度まで、連結子会社「アイブラティナ」は、「美」を求めるブランド志向の高まりを受け、新たなマーケットの開拓を行なってまいりました。しかしながら、当第1四半期連結会計期間においては、高価格マーケットの開拓により事業を継続することが難しく、販売費及び一般管理費節減を行ないつつ、国内での販売活動から、海外事業への転換の準備を進めております。

売上高は好調に推移しましたが、売上原価率の高い品目の売上比率が高かったことなどから、売上総利益が減少しました。また、販売費及び一般管理費面におきましては、節減に努め、人件費は減少したものの、逆に販売費が増加しました。そのため、営業損失、経常損失、四半期純損失とも損失幅が拡大しました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高662,688千円（前年同四半期比12.9%増）、営業損失397,937千円（前年同四半期は営業損失354,876千円）、経常損失404,397千円（前年同四半期は経常損失365,264千円）、四半期純損失247,327千円（前年同四半期は四半期純損失225,827千円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は2,798,962千円（前連結会計年度末は3,110,007千円）となり、前連結会計年度末に比べ311,044千円減少しました。これは主にたな卸資産が117,177千円、繰延税金資産が156,056千円増加したものの、受取手形及び売掛金が659,587千円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は2,251,988千円（前連結会計年度末は2,290,460千円）となり、前連結会計年度末に比べ38,471千円減少しました。これは主に有形固定資産が20,655千円減少したことによるものであります。なお、投資不動産仮勘定が292,466千円減少し、投資不動産が287,530千円増加しております。

(繰延資産)

当第1四半期連結会計期間末における繰延資産の残高は2,072千円（前連結会計年度末は2,763千円）となり、前連結会計年度末に比べ690千円減少しました。これは社債発行費が690千円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は1,846,655千円（前連結会計年度末は1,820,197千円）となり、前連結会計年度末に比べ26,458千円増加しました。これは主に未払法人税等が51,321千円、賞与引当金が49,660千円減少したものの、支払手形及び買掛金が149,222千円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は882,291千円（前連結会計年度末は903,016千円）となり、前連結会計年度末に比べ20,725千円減少しました。これは主に社債が15,000千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は2,324,077千円（前連結会計年度末は2,680,018千円）となり、前連結会計年度末に比べ355,940千円減少しました。これは主に剰余金の配当が108,586千円、四半期純損失が247,327千円計上されたことによるものであります。この結果、自己資本比率は、46.0%（前連結会計年度末は49.6%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純損失の計上、たな卸資産の増加、配当金の支払等があるものの、売上債権の減少、仕入債務の増加等により、前連結会計年度末に比べ29,337千円増加し、当第1四半期連結会計期間末には1,150,151千円となりました。

また当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間において営業活動の結果得られた資金は160,040千円（前年同四半期比85,181千円増）となりました。

これは主に税金等調整前四半期純損失402,694千円、たな卸資産の増加額117,177千円、未払金の減少額80,503千円等があるものの、売上債権の減少額659,587千円、仕入債務の増加額149,222千円等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間において投資活動の結果使用した資金は2,177千円（前年同四半期は175,059千円の獲得）となりました。

これは主に差入保証金の回収による収入3,773千円等があるものの、有形固定資産の取得による支出7,836千円等があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間において財務活動の結果使用した資金は128,399千円（前年同四半期比111,283千円減）となりました。

これは主に配当金の支払額108,746千円、社債の償還による支出15,000千円等があったことによるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

従前より売上高については、季節変動性が高く、第2四半期及び第4四半期に集中する傾向があります。第2四半期においては、美容液「リンクル ローション」の売上を予定しており、平成22年5月14日付けの「平成22年3月期決算短信」に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の予想を、変更しておりません。

2. その他の情報

（1）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

・会計処理基準に関する事項の変更

（資産除去債務に関する会計基準の適用）

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響はありません。

（4）継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,200,151	1,170,814
受取手形及び売掛金	484,649	1,144,237
商品及び製品	427,975	459,924
仕掛品	65,545	16,050
原材料及び貯蔵品	274,684	175,053
その他	390,086	190,237
貸倒引当金	△44,130	△46,309
流動資産合計	2,798,962	3,110,007
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	542,630	553,231
土地	521,190	521,190
その他（純額）	142,585	152,640
有形固定資産合計	1,206,406	1,227,062
無形固定資産	82,901	89,169
投資その他の資産		
投資不動産（純額）	287,530	—
差入保証金	403,110	406,991
投資不動産仮勘定	—	292,466
その他	339,229	341,482
貸倒引当金	△67,188	△66,712
投資その他の資産合計	962,680	974,228
固定資産合計	2,251,988	2,290,460
繰延資産		
社債発行費	2,072	2,763
繰延資産合計	2,072	2,763
資産合計	5,053,024	5,403,231

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	467,087	317,865
短期借入金	800,000	800,000
1年内償還予定の社債	230,000	230,000
未払法人税等	317	51,639
賞与引当金	50,336	99,996
返品廃棄損失引当金	16,373	8,600
その他	282,540	312,096
流動負債合計	1,846,655	1,820,197
固定負債		
社債	635,000	650,000
退職給付引当金	99,891	101,092
その他	147,399	151,924
固定負債合計	882,291	903,016
負債合計	2,728,947	2,723,213
純資産の部		
株主資本		
資本金	804,200	804,200
資本剰余金	343,800	343,800
利益剰余金	2,555,888	2,911,802
自己株式	△1,259,728	△1,259,672
株主資本合計	2,444,159	2,800,129
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△581	△610
土地再評価差額金	△119,500	△119,500
評価・換算差額等合計	△120,082	△120,111
純資産合計	2,324,077	2,680,018
負債純資産合計	5,053,024	5,403,231

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
売上高	587,060	662,688
売上原価	179,457	272,010
売上総利益	407,603	390,678
販売費及び一般管理費	762,480	788,616
営業損失(△)	△354,876	△397,937
営業外収益		
受取利息	1,187	1,348
受取配当金	130	310
受取賃貸料	11,203	9,851
雑収入	2,765	6,200
営業外収益合計	15,286	17,711
営業外費用		
支払利息	5,618	5,092
賃貸収入原価	14,727	16,674
雑損失	5,327	2,403
営業外費用合計	25,674	24,170
経常損失(△)	△365,264	△404,397
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,394	1,702
特別利益合計	1,394	1,702
特別損失		
減損損失	1,593	—
特別損失合計	1,593	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△365,464	△402,694
法人税、住民税及び事業税	212	347
法人税等調整額	△139,849	△155,713
法人税等合計	△139,636	△155,366
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△247,327
四半期純損失(△)	△225,827	△247,327

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△365,464	△402,694
減価償却費	43,079	36,656
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,072	△1,200
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△117,706	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△47,312	△49,660
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,394	△1,702
受取利息及び受取配当金	△1,318	△1,659
支払利息	5,618	5,092
為替差損益 (△は益)	8	126
売上債権の増減額 (△は増加)	667,157	659,587
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△111,067	△117,177
前払費用の増減額 (△は増加)	—	△42,180
仕入債務の増減額 (△は減少)	△13,589	149,222
未払金の増減額 (△は減少)	△76,089	△80,503
未払費用の増減額 (△は減少)	—	30,448
未払役員退職慰労金の増減額 (△は減少)	117,706	—
その他	10,428	25,761
小計	113,129	210,115
利息及び配当金の受取額	1,207	1,270
利息の支払額	△6,093	△5,638
法人税等の支払額	△33,385	△45,707
営業活動によるキャッシュ・フロー	74,858	160,040
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,788	△7,836
無形固定資産の取得による支出	△2,070	△3,038
貸付金の回収による収入	3,384	2,705
差入保証金の差入による支出	△256	△164
差入保証金の回収による収入	177,789	3,773
その他	—	2,381
投資活動によるキャッシュ・フロー	175,059	△2,177
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△7,247	△4,597
社債の償還による支出	△15,000	△15,000
自己株式の取得による支出	△56	△56
配当金の支払額	△217,380	△108,746
財務活動によるキャッシュ・フロー	△239,683	△128,399
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	△126
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	10,226	29,337
現金及び現金同等物の期首残高	1,361,712	1,120,814
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,371,938	1,150,151

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

当社グループは化粧品の特許メーカーとして、同一セグメントに属する化粧品の製造、販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

〔セグメント情報〕

当社グループは化粧品の特許メーカーとして、同一セグメントに属する化粧品の製造、販売を行っているため、記載を省略しております。

（追加情報）

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当社グループは化粧品の専門メーカーとして、同一セグメントに属する化粧品の製造、販売を行っているため、生産実績のセグメント情報の記載は省略しております。

前第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結会計期間の化粧品部門の生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別		前第1四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)		当第1四半期連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)		増減	
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	増減率(%)
	スキンケア	665,272	77.8	465,612	70.0	△199,659	△30.0
	メイクアップ	105,006	12.3	58,215	8.7	△46,791	△44.6
	ヘアケア	59,807	7.0	137,630	20.7	77,822	130.1
	その他	24,924	2.9	3,880	0.6	△21,043	△84.4
アイビー化粧品計		855,011	100.0	665,339	100.0	△189,671	△22.2
アイプラティナ		—	—	—	—	—	—
合計		855,011	100.0	665,339	100.0	△189,671	△22.2

(注) 1. 金額は、販売価格で表示しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 「アイプラティナ」は、前第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結会計期間共に、生産実績はありません。

② 商品仕入実績

当社グループは化粧品の専門メーカーとして、同一セグメントに属する化粧品の製造、販売を行っているため、商品仕入実績のセグメント情報の記載は省略しております。

前第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結会計期間の商品仕入実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別		前第1四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)		当第1四半期連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)		増減	
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	増減率(%)
	美容補助商品	18,632	58.0	40,885	80.2	22,252	119.4
	化粧雑貨品等	13,501	42.0	10,086	19.8	△3,414	△25.3
アイビー化粧品計		32,133	100.0	50,971	100.0	18,838	58.6
アイプラティナ		—	—	—	—	—	—
合計		32,133	100.0	50,971	100.0	18,838	58.6

(注) 1. 金額は、仕入価格で表示しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 「アイプラティナ」は、前第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結会計期間共に、商品仕入実績はありません。

③ 受注状況

当社グループは受注生産を行っておりませんので、該当事項はありません。

④ 販売実績

当社グループは化粧品の専門メーカーとして、同一セグメントに属する化粧品の製造、販売を行っているため、販売実績のセグメント情報の記載は省略しております。

前第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結会計期間の販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別			前第1四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)		当第1四半期連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)		増減	
			金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	増減率(%)
		スキンケア	373,361	63.6	350,418	52.9	△22,942	△6.1
		メイクアップ	81,356	13.9	74,107	11.2	△7,249	△8.9
		ヘアケア	30,084	5.1	138,162	20.8	108,077	359.2
		その他	14,630	2.5	9,351	1.4	△5,279	△36.1
	化粧品合計		499,433	85.1	572,038	86.3	72,605	14.5
	美容補助商品		74,692	12.7	79,215	12.0	4,522	6.1
	化粧雑貨品等		12,568	2.1	11,434	1.7	△1,134	△9.0
	アイビー化粧品計		586,694	99.9	662,688	100.0	75,994	13.0
	アイブラティナ		366	0.1	—	—	△366	△100.0
	合計		587,060	100.0	662,688	100.0	75,628	12.9

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 当社グループでは、主として第2四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間に集中して売上高が発生するため、通常、第1四半期連結会計期間及び第3四半期連結会計期間の売上高は、他の四半期連結会計期間の売上高と比べ著しく低くなっております。

3. 「アイブラティナ」は、当第1四半期連結会計期間の販売実績はありません。